



年の瀬もいよいよ押し迫り、今年も残すところあとわずかとなりました。何かと目まぐるしい日々をお過ごしのことと思いますが、寒さも厳しさを増しておりますので、くれぐれもお体にご留意のうえ、よいお年をお迎えください。

看護キャリア開発センターでは、11月、12月も特定行為研修の講習会やスクーリングをおこないました。

それでは、その一部をご紹介します。

特定行為研修指導者講習会

今年もオンラインで開催！

厚労省の委託を受け、今年で3回目となる指導者講習会を開催しました。オンライン開催のため、北海道から九州まで全国各地から50名にご参加いただきました。

グループワークでは今年も本学特定行為研修実務委員の方々にファシリテーターとしてご協力いただきました。参加者からは、有意義な意見交換ができ、とても参考になったという意見が多く聞かれました。



講義とグループワーク画面



ファシリテーターの方々



急性期医療コース 区分別科目研修 スクーリング実施！

急性期医療コースの区分別科目では、【栄養に係るカテーテル管理関連】と【動脈血液ガス分析関連】の二つの区分を学ぶことができます。「中心静脈カテーテルの抜去」と「直接動脈穿刺法による採血」「橈骨動脈ラインの確保」の行為があります。

11月に区分別科目のスクーリング（集合研修）を実施しました。スクーリングでは講師との対面授業と演習により、さらに実践的な知識と技術を修得します。短期間のスケジュールでしたが、受講生は熱心に自主トレーニングを繰り返し、OSCE試験も全員合格できました。

12月からは、附属病院内での臨地実習が始まっています。「橈骨動脈ラインの確保」は、中央手術部で麻酔科医師の直接指導を受けながら実践中です。「直接動脈穿刺法による採血」や「中心静脈カテーテルの抜去」についても、一般病棟や中央部門で実習をおこなっています。実習は令和5年2月頃までに終え、3月には修了式を迎えます。



シミュレーターで繰り返しトレーニング



橈骨動脈ラインの確保



麻酔科の山崎先生にご指導いただきました



直接動脈穿刺法による採血



エコーの使用方法も学びました
麻酔科の水本先生にご指導いただきました



橈骨動脈ラインの確保 OSCE の様子。
介助者役は西山師長です



中心静脈カテーテルの抜去

CV 抜去は消化器外科の早田先生にご指導いただきました。
CV 抜去と縫合の手技練習の様子



CV 抜去相互評価の様子

★お知らせ★

1月、2月は保健看護学部生のキャリア支援として、**ジョブシャドウイング**を予定しています。ジョブシャドウイングは、ロールモデルの後ろを影のようについて同行し、どのような仕事をしているかを観察する学習方法です。参加する学生は2名1組で3日間、同じ病棟で「管理者」「リーダー」「メンバー」に同行し、多職種との協働や多重課題への対応の場面などを観察します。この経験を通じて、学生は自身の看護観について考え、看護師として働く時のイメージがしやすくなります。ご協力いただく病棟の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。